

教科に関する調査結果

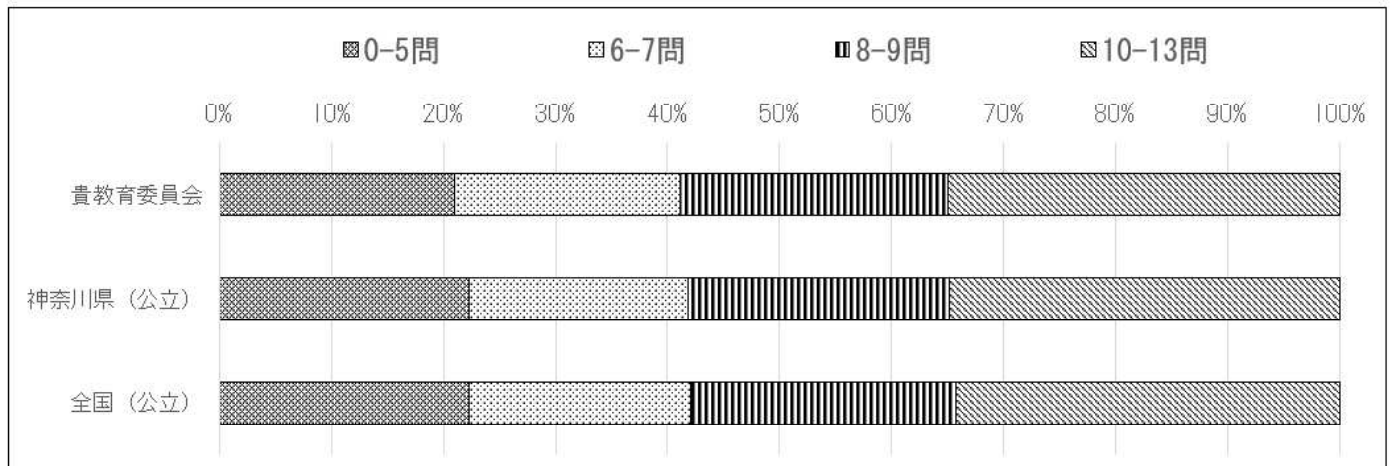
小学校 国語

1 調査結果の概要

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
相模原市	5,109	8.0/13	62	8.0	3.0
神奈川県(公立)	66,651	7.9/13	61	8.0	3.1
全国(公立)	922,411	7.9/13	60.9	8.0	3.0

分類		区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
				貴教育委員会	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体			13	62	61	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	67.1	65.2	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	51.9	53.3	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	66.8	66.9	65.8
		B 書くこと	2	47.4	46.3	45.7
		C 読むこと	2	66.2	66.2	65.9
評価の観点	知識・技能		6	62.0	61.2	62.0
	思考・判断・表現		7	61.1	60.8	60.1
	主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式		9	63.0	63.1	61.9
	短答式		2	62.6	59.6	62.6
	記述式		2	53.6	53.1	54.9

【正答数ごとの層分布(全国四分位)】



【調査結果から分かる本市の状況】 ○比較的よくできていた点 ●課題のあった点

○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることはできている。

〔1ー〕

●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。〔2四〕

●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。〔3二〕

2 成果と課題

(1) 比較的良好にできていた問題

○趣旨

相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる

○問題 ① ー

【構成メモ】

時間	えい像のイメージ	伝えたいこと	
はじめ 10 秒		○話題の提示 ・草花遊び	
中① 1 分		○遊び方 音を鳴らして遊ぼう ・くき笛 (たんぽぽ)	○おもしろさ 友達といっしょに 鳴らして、音が重なる のが楽しい。
中② 1 分		対決して遊ぼう ・草ずもう (おおばこ)	友達と対決して、 勝ったり負けたり するのがおもしろい。
終わり 20 秒		○まとめ ・友達といっしょに草花遊びを楽しんで ほしい。	

ー岡野さんたちのグループは、【岡野さんたちの考え】をもとに、動画の【構成メモ】をくふうして作りしました。そのくふうとして最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 草花遊びの遊び方とおもしろさを取り上げて、遊ぶときの注意点を説明しようとしている。
- 2 友達と遊ぶときと一人で遊ぶときのおもしろさを比べて、ちがいを明らかにして説明しようとしている。
- ③ 友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、おもしろさと合わせて説明しようとしている。
- 4 草花遊びと他の遊びを比べて、それぞれのおもしろさを説明しようとしている。

正答率:73.8%
(全国:73.9%)

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

○問題 2 四

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないかなぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

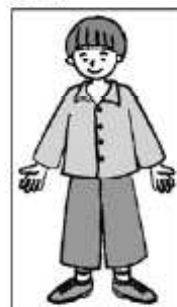
では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそう。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



2

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

○問題 2 四

- (条件)
- 「集めた情報」の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎっこ(「」)でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- 百四十字以内にまとめて書くこと。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、 に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【正答例】青は青でも、うすい青を選んで着るとよさそうだ。なぜなら、「夏のくらし方」には、「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。」と書かれているからである。

正答率:32.5%
(全国:33.5%)

【学習のポイント】

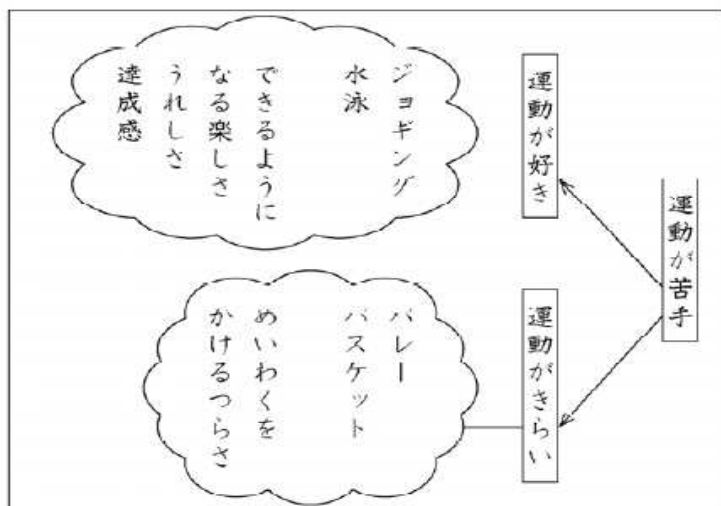
この問題では「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことが問われています。引用をするときにポイントになるのは、「原文に正確に引用すること」や「引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にし、区別して書くこと」です。

文章を書く際、まずは「何のために書くのか」「誰に伝えるのか」など、書く目的や対象を意識することが重要です。その上で、「考えと事実を区別して書く」「引用した部分はかぎ(「」)でくくる」などの基本的な事項にも注意を払いましょう。

○趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

○問題 3 二



【林さんのメモ】

二 林さんは、「文章」を読んで、筆者の考えを理解するために、——部①、②、③について【林さんのメモ】のように整理しました。林さんはどのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

辻村深月「『苦手』と『嫌い』」
を読んで、
後の問いに答える。

正答率:56.0%
(全国:55.6%)

- ① 「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けて、筆者の経験したことと結び付けて整理している。
- 2 「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けて、自分の経験したことと結び付けて整理している。
- 3 「苦手」、「好き」、「きらい」の順に矢印でつなげて、筆者の経験したことと結び付けて整理している。
- 4 「苦手」、「好き」、「きらい」の順に矢印でつなげて、自分の経験したことと結び付けて整理している。

【学習のポイント】

「読んだ文章を推薦する」「文章を読んで考えたことを伝え合う」など、目的をもって文章を読む場面では、分かったことや考えたことを構造的に整理したりまとめたりすることが重要です。そこで、本問のようにメモなどを用いることが有効になります。メモを使って情報を整理したりまとめたりするためには、読んだ文章から必要な情報を取り出す経験や、取り出した情報を図表や矢印などを使いながら整理したりまとめたりする経験が必要です。

この問題では、文章を読む場面でメモを用いています。このように情報を整理したりまとめたりするためにメモを用いることは、文章を書く場面や、話したり聞いたりする場面においても有効です。様々な場面において、活動の目的を意識しながら、情報を扱うことができるようにしましょう。

教科に関する調査結果

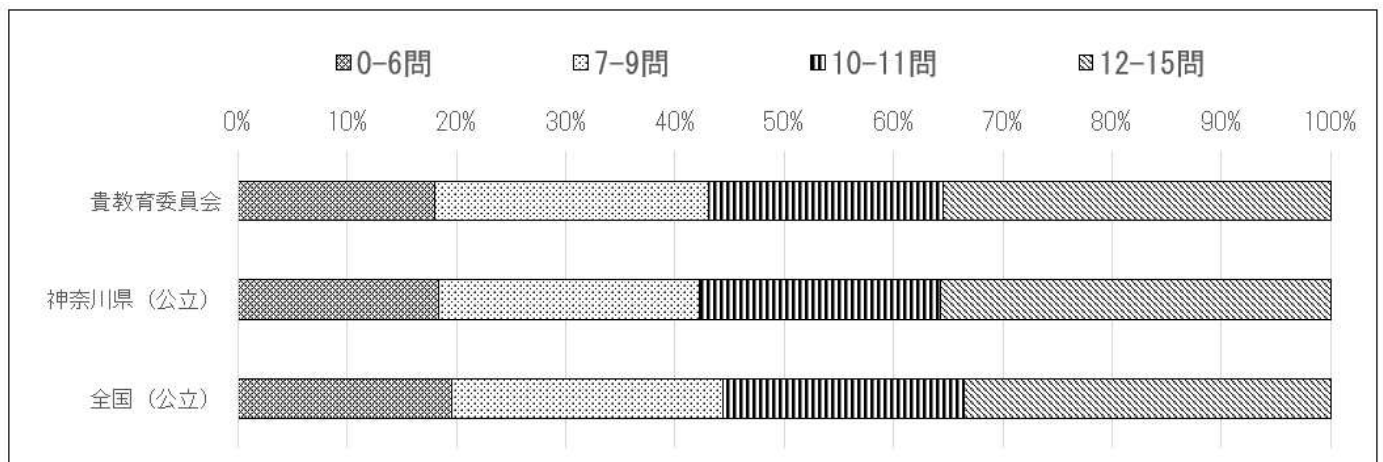
中学校 国語

1 調査結果の概要

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
相模原市	4,571	9.7/15	65	10.0	3.3
神奈川県(公立)	56,901	9.7/15	65	10.0	3.3
全国(公立)	841,873	9.6/15	63.9	10.0	3.3

分類		区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
				貴教育委員会	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体			15	65	65	63.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	63.4	63.6	63.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	72.3	72.7	70.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	64.3	64.8	63.9
		B 書くこと	3	68.4	68.1	67.4
		C 読むこと	3	62.5	61.5	59.7
評価の観点	知識・技能		6	64.9	65.2	64.2
	思考・判断・表現		9	65.1	64.8	63.7
	主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式		9	74.1	74.2	72.7
	短答式		3	55.7	55.8	55.8
	記述式		3	46.9	46.2	45.5

【正答数ごとの層分布(全国四分位)】



【調査結果から分かる本市の状況】 ○比較的良好にできていた点 ●課題のあった点
○表現の効果を考えて描写することはできている。

〔3二〕

●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。

〔3一〕

●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。

〔4四〕

2 成果と課題

(1) 比較的好くできていた問題

○趣旨

表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる。

○問題 3 二

3 石井さんは、国語の時間に、文書作成ソフトを使って随筆を書いています。次の「石井さんが書いている随筆」を読んで、あとの問いに答えなさい。(1から5は、段落の番号を表します。)

「石井さんが書いている随筆」

- ① 私には趣味がある。休日になると、私は自転車のハンドルを握りしめ、目的地へ向かう。そして、その日の気持ちに合った景色を見付けては、スケッチブックに写しとる。私の趣味は絵を描くことだ。相棒であるスケッチブックは、今使っているもので四冊目になる。今までに描いた絵を見返すと、その時々私の気持ちを相棒が教えてくれる。これも絵を描く楽しみの一つだ。
- ② 三月のある日曜日。その日は、朝から気が重くて、朝食をとっても元気が出なかった。それでも、私は自転車で十五分の大きな公園に向かった。しかし、そんな日に限って、強い向かい風が私に吹き付ける。坂のない平坦な道のりが、とても長く感じられる。何度も引き返そうかと思ったが、なんとか公園にたどり着いた。
- ③ 休日を過ごす人々で公園はにぎわっていた。そんな姿を見ると、絵を描こうという気持ちが自然とわいてきた。私はベンチに腰掛け、鉛筆を走らせる。公園で休日を楽しむ人々の姿をスケッチブックに写しとった。
- ④ 帰りは、進む方向が変わり、私を苦しめたあの向かい風が追い風になった。風が私の背中を押して、自転車はぐんぐん進んでいく。私の気持ちもどんどん明るくなって、ペダルをこいだ。道の途中、横風や向かい風になるときもあるが、気にならなかった。「もう一枚描いてから帰ろうかな。」家の近所の小さな公園で自転車を止めた。
- ⑤ 同じ風でも、自分の向き合い方が変わると感じ方も変わることを知った。どんなことも自分次第なのだ。この日描いた二枚の絵には、そんな私の気持ちが表れている。

二 石井さんは、「石井さんが書いている随筆」の——線部「私の気持ちもどんどん明るくなって、
の——について、どんどん明るくなった私の気持ちがより伝わるように、表現を工夫しようとしています。
あなたならどのように書きますか。——に「どんどん」、「明るく(なって)」以外の言葉を入れて、文を完成させなさい。

【正答例】

- ・ 風に背中を押されるように
- ・ 足に力を込めて

正答率:93.0%
(全国:92.3%)

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと

○問題 3 —

□る
必要な物を入れて、集める。
「きのこを□る」

取る
持つ。握る。得る。除く。
「手に取って見る」
「免許を取る」

捕る
つかまえる。
「魚を捕る」
「外野フライを捕る」

撮る
カメラなどで写す。
「写真を撮る」
「記録映画を撮る」

【文書作成ソフトに表示された意味と用例】

何をして遊ぶか多数決をとる子どもたち、飼い主が投げ上げたボールを落とさずにとる犬、遠く美しい山並みをとる人。

【石井さんが書き加える一文】

— 石井さんは、【石井さんが書いている随筆】の「の」のところに、一文を書き加えようとしています。次の【石井さんが書き加える一文】と【文書作成ソフトに表示された意味と用例】を読んで、あとの問いに答えなさい。

3	2	1
ア	ア	ア
取る	撮る	捕る
イ	イ	イ
捕る	取る	撮る

から一つ選びなさい。

(2)

【文書作成ソフトに表示された意味と用例】を参考にして、【石井さんが書き加える一文】の「線部アとイの正しい漢字の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から3までの中

(1)

【石井さんが書き加える一文】の「多数決をとる」と【文書作成ソフトに表示された意味と用例】の「□る」の「線部」は同じ漢字が入ります。「多数決をとる」の「線部」のひらがなを漢字に直し、楷書でいいいに書きなさい。

採

【正答の条件】次の条件を満たして解答している。

- ① (1) について、「採(る)」と書いている。
② (2) について、1を選んでいる。

正答率:36.4%
(全国:39.8%)

【学習のポイント】

この問題では、「正しい漢字を書く」ということだけでなく、文脈を把握した上で、その文脈に適する漢字を書くこと、ヒントなどを参考にしながら正しい漢字を選ぶことが求められています。

漢字の学習に取り組む際は、一つひとつの漢字を繰り返し練習するだけでなく、文章の中ではどのように使われるのか、その漢字や言葉はどのような意味なのか、どのような同音異義語や同訓異義語があるかなど、その漢字や言葉を使う場面を想定しながら学習することが重要です。

○趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる。

○問題 4 四

中田智子「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」を読んで、あとの問いに答える。

四 林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、「具体的な場面」を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみた。あなたは、「例文1」と「例文2」を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈具体的な場面〉



〈例文1〉〈擬態語を使っていない例文〉

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

〈例文2〉〈擬態語を使った例文〉

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきっぱりと言った。

条件1 〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

【正答例】

「きっぱり」は生徒が自信を持っている様子が伝わる。擬態語を使うことによって、様子をありありと映し出すことができる。

正答率:41.8%
(全国:38.9%)

【学習のポイント】

この問題で扱われているような説明的な文章を読む際は、まずは正確に読むことが重要です。その上で、自分が興味をもった部分や新たに興味を抱いたことなどについて、「もう少し詳しく調べてみよう」「ここで書かれているものの他にはどのようなものがあるのだろうか」といった目的意識や問いをもって読みましょう。そのことにより、文章の内容をより深く理解しようとしたり、他の読み物を読んで読書の幅を広げようとしたりする態度の育成が期待できます。

また、あるテーマについて書かれた文章を読んだ際は、同じテーマで書かれた別の文章や関連するテーマで書かれた本等を探し、それぞれの文章を関連させながら読むことも重要です。